

# ハイムだより

発行者 新多摩川ハイム管理組合 川崎市多摩区中野島6-29-7 25期理事会  
TEL 044-945-1193 FAX044-945-2316 sintamah@chive.ocn.ne.jp

新多摩川ハイム 防災マニュアル これまでの総括編です。

大切に保存し、折りに触れ読み返し大地震に備えてください。

管理棟にいざという時に迅速に操作活動出来るように、停電時の管理棟配電作業手順、発電機等機器の操作方法、対策本部の行動、等を追加した防災マニュアルを3冊常備します。細部の内容については今後の防災訓練等の結果を反映して見直し毎年改訂していく事が必要になるでしょう。

当初は防災マニュアルを皆さんに印刷配布する予定でしたが、そのようなことから今回見送ることとし、その代わりに第4回は3回までの内容を集約した保存版としましたので折に触れて読み返してください。

これまでに頂きました皆さまの応援メッセージや専門知識をお持ちの方々の申し出協力有難うございました。今後とも防災活動へのご協力宜しくお願い致します。

ハイム防災会会長代行 西浦啓二

首都直下地震の被害想定に基づく多摩区地域での震度6程度の[大地震]に対する備えです。

安全なハイムは自分の事は自分で守る自宅避難とエントランスの声のかけ合い助け合い

ハイムの地盤は小石を多く含む礫層なので強い地盤に属し、新耐震基準に基づく構造設計で大手ゼネコンにより建設されました。大地震があっても非構造部材（間仕切り壁や仕上げ材等にひび割れが発生する可能性はあっても構造躯体は耐えうると判断しています。揺れは別問題で、上層階ほど水平に大きく揺れる事が想定されます。



## 1. 安全な部屋づくり

日頃から家具類の適切な配置や転倒防止処置によって家の中に安全な空間を確保しておきましょう。一番無防備になる寝室には落ちそうな物は置かないようにしましょう。

大きな家具は少し後ろに傾くようつもりで家具

転倒防止板(ストッパー)を家具下の手前に端から端まで敷き手前を高くして置くのと同時に家具の上部と柱や壁とL字型器具等で固定します。突張棒の場合は天井の硬い部分と家具の両端奥の壁側に垂直にしっかり取り付けます。

## 2. 防災備品の点検更新

電気、ガス、水道なしで1週間は自力でのしのげる準備をしておきましょう。

備蓄品には有効期限がありますので毎年9月1日防災の日には点検更新しましょう。

●水の備え；5年水など(一人一日3リットル必要)

●簡易トイレの備え；(45Lの大型ゴミ袋を2枚重ねにし中に新聞紙を敷く方法もあります。)

- 食料の備え;、腐敗の危険性を確認しつつまずは冷蔵庫の中から、加熱不要の非常食
- 手回し充電型 懐中電灯、ラジオ、携帯充電機一体セット ●LEDランタンと電池
- 卓上カセットコンロとポンペ ●運搬用水タンク ●SOS発信する救助笛



### 3. 家族安否確認の決めごと

- 子供が自分の判断で行動しなければならない場合を含め、その時家族がそれぞれの外出先にいる場合の行動の取り決めを予め決めておくこと
- 固定、携帯電話は利用集中による接続制限が予想されます、非常用伝言サービス(171)や待機出来る携帯端末の文字メールがお勧めです。

### 4. 大地震が起きたらその時どうする

- まずは身の安全;ものが倒れたり落ちてきたりしない安全な場所の丈夫な机の下等に入り頭を守ります。移動するときはスリッパを着用してガラスの破片で怪我をしないように
- エレベーターに乗っていたら、震度4程度で自動

的に最寄階に止まり扉が開くはずですが、不幸にして揺れの前に停電になってしまい閉じ込められてしまった時、非常用電源により1時間の照明と連絡が確保されますのでインターフォンで管理室に連絡してください。

### 5. ひとまず揺れが収まったら

- 電気器具のショート出火がないか、ガス漏れがないかを確認して全ての火元を始末します。

### 6. 万が一出火したら火の小さいうちに消し止めましょう。

- 天ぷら油の中に火が入ってしまったら、タオルかシーツを水でぬらした後よく絞りそれを手前から鍋に被せて酸素を不足させ窒息消火させます。そして栓を止めましょう。  
(第2回の台所用スプレー型消火器は各種問題ありとの消防の指摘がありました。)
- 「火事だ！火事だ！119番お願い！」と大声で出火を周りの人に知らせるとともに、停電でない限り部屋のインターフォンにある非常ボタンを押して火災を管理室に通報します。
- 停電の時は通路にある火災報知機ボタンを強く押して非常を知らせます。  
ボタンは 3, 4号棟は1, 4, 7, 10, 11階に1, 2, 5, 6号棟は2, 5, 8, 11, 14階にあります。

自分の階にない場合は、上の階か下の階かどちらかに必ずあります。事前にご確認ください。



- 初期消火はエントランスのお隣さんの協力がが必要です。予め場所を確認してあった(粉末)消火器と消火栓のホースを使って初期消火に努めましょう。消火器はすべての階にあります。
- 消火器の使い方は①まず黄色い安全ピンを上に引っ張って抜きます。②ホースの先を火に向けてレバーを強く握り消火に努めます。
- 分担して119番に通報しましょう。

### 7. 消火栓とホース、放水ノズルの使用方法、3人以上で役割分担して操作します。

- 消火栓は火災報知機ボタンの下の箱にあります。但し3号棟、4号棟は居住者も使用できる消火栓は11階にしかありません。他は消防隊専用設備です。
  - ①消火栓の上にある赤いボタンを必ず強く押します。このボタンは火災を知らせると同時に消火栓用のポンプを起動させるスイッチを兼ねています。ボタンを押した人はそのまま消火栓の所に残り、「蛇口を開けて！」の合図を待ってホースが繋がっている赤い蛇口バルブをいっぱい

廻して開ける役目を担います。

- ②残りの二人は消火栓箱の扉を開けて消防ホースを折りたたんでかけてあるハンガーを引き出し、金属製の放水ノズルを持ってホースを引き出しながら出火現場に駆けつけます。  
ホースは必ず全部引き出してください。一人は放水ノズルと消火栓の中間点に戻って位置し、声が届かない場合の連絡役をします。
- ③圧力がかかるので体を低く安定させ、放水ノズルを腰にしっかりあて準備が出来たら、「蛇口を開けて！」と 大声で連絡しましょう。まわりの人は高水圧ホースの暴れに注意しましょう。
- ④火が天井まで回ってしまった時は、煙に巻き込まれる危険がありますので火災現場から退避してください。
- ⑤いつも使用する階段が火炎や煙で使用できない場合はベランダの非常用木製壁を破って右と左のお隣さん経由で別の階段を使用出来る避難ルート、端の号室はベランダハッチの非常用梯子での階下と階上方向への避難ルートもあり、必ず2方向避難ルートが確保されています。

## 8. 119番の連絡と消防隊の活動

- ①固定電話でも、携帯電話でも連絡出来ます。  
震災時の利用集中により両方が通話困難な場合は1号棟近くの交番にある電話(非常時優先されます)を利用してください。
- ②119番が出たら、落ち着いて、「火災発生、場所は中野島6丁目29番地、新多摩川ハイム×号棟×エントランスのXX階×××号室」と正確に教えてください。
- ③到着した消防隊は、エントランス入口脇にある消防隊用給水口に高圧水をホースで繋ぎ

ます。停電の場合は消防隊がホースをかついで階段で上に登り消火栓の大口径の消防隊用連結送水管に接続して消火活動を行います。連結送水管は火災報知機ボタンのある階にあります。



- ④消防隊は大地震でエレベーターに閉じ込められた時の救出もしてくれます。

## 9. 家族とエントランスの安否確認

- 予め取り決めた方法で家族の安否確認をします。
- 管理事務所から[お隣さんの安否確認と火の用心のお願い]放送があります。  
お隣さんと階段上下の両隣[タテ型一向こう三軒両隣]にも声をかけ合しましょう。

- この時、エレベーターに閉じ込められた人が出たり、怪我や体調に異常のある人が出た場合や、煙や異臭を感じたら大声や非常用笛で異常を周りに知らせ、まずはエントランス隣人同志で出来る初期対応をしましょう。同時に管理事務所にも通報しましょう。

## 10. 災害対策本部の設立

震度5強以上の地震が発生した場合、1時間を目途にその時の理事会メンバーが管理棟地階に集まり、被害状況により迅速な本部組織の設置を判断し、その結果を放送します。

- 設置の場合は放送により、理事会メンバーに加え防災委員、HIC委員、医療、機械電気の専門知識のある人、中学高校生の青年隊、一時避難所等のボランティアに必要な応じ集まってもらいます。

- 4つの下部組織(総務情報室、救護班、整備資材班、スタッフ班)がハイムの災害時情報の共有化、避難生活環境の維持、救出、救護活動を行っていきます。

## 11. ハイムの停電対策

- 部屋のインターフォンが使用できなくなるので、災害対策本部よりの連絡は非常用屋外スピーカーから放送します。チャイムが鳴ったら1、2、5、6号棟では広場側の窓を4号棟ではベランダ側、3号棟ではどちらか聞こえやすい方の窓を開けてお聞き取りください。放送は3回繰り返します。
- 非常用ディーゼル発電機(重油燃料)による水道水の定時短時間供給体制  
予め放送連絡した時間帯のみ(30分程度)水

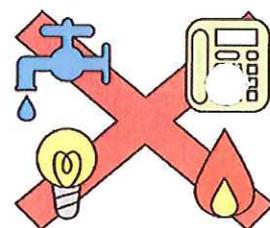
を供給します。燃料の残量によりますが、7日間は最低一日一回供給する計画です。機械等のトラブルで実行できない可能性はゼロではありません。

- その場合は管理棟の5号棟側の側壁にある5つの大口径の非常用給水口から水だしをします。電源はガソリン燃料の中型発電機です。
- 災害対策本部や一時避難所のある管理棟は中型発電機により配電されます。

## 12. 手渡し式 災害時通信板(A4クリップボード)

- 揺れが収まり、家族の安否確認、お隣さん同志の声かけが終わった頃、1時間を目途に災害時通信板に災害状況を記入する作業を依頼します。
- 放送により各階段を挟んでの両側タテ2列の防災班ごとの1階の奇数の号室の方に管理棟に通信板を取りに来てもらいます。
- 取りに来てもらった部屋を起点に奇数号室を上へ上へと順番に階上へ手渡し、最上階で偶数室に手渡して頂きます。それから

号室を階下へと進み最後の偶数号室の部屋が通信板を管理棟に返却してもらいます。



- 停電中はドアベルが鳴りません。放送のあった時、出来るだけドアの鍵を開けて於いてください。通信板は必ず次に部屋の人に手渡してください。留守宅は通信板が手元にある人が留守覧に○を記入して次に階に手渡ししてください。

## 13. 一時避難所

- エレベーターの使えない中で、自力で階段をのぼって家まで到達出来ない人が、階段昇降機や人の助けを借りて自宅に戻るまでの一時待機所にすぎません。
- 管理棟和室の収容人員は15人で、水、非常食、毛布、日用品を準備してあります。
- 長距離徒歩帰宅者の一時休憩、仮眠場所としても利用出来ます。

## 14. 災害時のルール

- エレベーターの使用禁止
- ゴミ出し禁止
- 水洗トイレ; 行政はパイプ破損や流水不足からくる紙詰まりによる下水漏れを防ぐ為と下水処理装置の不稼働も想定し水洗トイレの使用を禁止指導しています。
- ハイム外への長期避難の際は、電気、ガス、水道の元栓を閉めてから対策本部にある所定の書類に連絡先等を記入してください。
- 防災備品は災害対策本部が管理します。

折りに触れ読み返してください。